

# 地球環境学研究科

\* 国際環境コースのカリキュラムについては、  
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2022-2023」を参照

## 1. 地球環境学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

地球環境問題の解決にむけ、高い使命感をもち、社会科学と自然科学の知識を総合し、理論と実践を結び付ける優れた知力・学力を有する人材の育成を目指す。前期課程においては、高度専門的な職業を担う人材と知的素養に優れた人材を、後期課程においては、国際的な水準の地球環境学の教育・研究を目指す人材を養成する。

## 2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 地球環境学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、地球環境問題や環境学の専門家として、環境関連の社会科学と自然科学についての幅広い専門知識と様々な理論と実践を体得し、持続可能な社会の実現に貢献できると見なされる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 地球環境問題や環境学についての幅広い専門的知見
2. 地球環境問題や環境学についての幅広い実践的知識
3. 地球環境問題や環境学の解明すべき研究課題に対して、社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによる適切な研究方法及び分析手法を提案できる力。また、自らの主張を論理的に記述し、口頭で伝達することができ、社会に情報を発信する力
4. 前項を実現する方法として、論文作成における的確な論文構成と明快な論理展開ができる能力
5. グローバルな視点と対応能力

#### 【博士後期課程】

本課程では、地球環境学に関する国際レベルの研究能力を有していると認められ、また、自立して研究・開発が遂行でき、持続可能な社会の実現に貢献できると見なされる専門的人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 地球環境問題や環境学についての幅広く、かつ特定の分野・課題についての深い専門的知見
2. 地球環境問題や環境学についての幅広く、かつ特定の分野・課題についての深い実践的知識
3. 地球環境学の解明すべき研究課題に対して、社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによるオリジナリティーのある研究能力を身に付け、自立して研究・開発を行うことができる力。また、自らの主張を論理的に記述し、口頭で伝達することができ、社会に情報を発信することができる力
4. 前項を実現する方法として、オリジナリティーのある学術論文を執筆し、外部発表できる能力
5. グローバルな視点と対応能力

### 3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

#### 地球環境学専攻

##### 【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、地球環境問題や環境学に関する、広範な分野についての専門知識と様々な理論と実践を効果的に体得するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地球環境問題や環境学が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることを踏まえた文理融合型の広範かつコンパクトな見通しの良いカリキュラムとするため、環境法律・政策・社会学、環境経済・経営、環境理工の3つの科目群をバランスよく配置する。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に、問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身に付けることが可能なカリキュラムとするため、講義科目や演習・セミナー科目等において、最先端の取り組みや現場における知見を学ぶことができる機会を積極的に取り入れる。
3. 本学の教育の特色である小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションが可能なきめ細かな教育が可能なカリキュラムとするため、講義科目や演習・セミナー科目等において、研究・分析方法の修得や発表・意見交換を行う機会を取り入れる。また、修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため、第4学期目の始めに論文構想発表会を配置する。
4. 地球環境問題の解決のための国際協力の必要性が高まる中で、積極的に留学生を受け入れ、国際的に活躍する人材を育成するために、英語のみを用いた講義と指導によるカリキュラムの英語コースを設置するとともに、日本語コースと英語コースの講義科目の枠を越えた相互乗り入れを可能とし、演習・セミナー科目等において様々な国籍の学生が交流しつつ学ぶことができる機会を積極的に提供する。また、社会人が学びやすいように、夜間、土曜日に講義科目を配置し、働きながら必要な単位を履修できるように配慮を行う。

##### 【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、地球環境問題や環境学に関する、広範な分野についての専門知識と様々な理論と実践を効果的に体得するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地球環境問題や環境学が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることを踏まえた文理融合型の広範かつコンパクトな見通しの良いカリキュラムとするため、環境法律・政策・社会学、環境経済・経営、環境理工の3つの科目群からコースワーク科目をバランスよく配置する。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に、問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身につけることが可能なカリキュラムとするため、コースワーク科目や研究指導等において、最先端の取り組みや現場における知見を学ぶことができる機会を積極的に取り入れる。
3. 本学の教育の特色である小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションが可能なきめ細かな教育が可能なカリキュラムとするため、コースワーク科目や研究指導等において、研究・分析方法の修得や学会発表等を積極的に取り入れる。また、論文構想発表や資格論文審査などにより、博士論文執筆と口頭報告の能力の修得と提出資格の測定を適切に行う。
4. 地球環境問題の解決のための国際協力の必要性が高まる中で、積極的に留学生を受け入れ、国際的に活躍する人材を育成するために、英語のみを用いた講義と指導によるカリキュラムの英語コースを設置するとともに、日本語コースと英語コースの講義科目の枠を越えた相互乗り入れを可能とし、様々な国籍の学生が交流しつつ学ぶことができる機会を積極的に提供する。また、社会人が学びやすいように、働きながら必要な単位を履修できるように配慮を行う。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

<修士論文トラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目 └ 演習/SEMINAR A, B, C, D	8		必要単位8単位の他に, 4単位まで選択科目として修了要件に算入可能
▶ 選択科目 └ 自専攻科目	22		
└ 委託聴講科目			10単位まで選択科目として修了要件に算入可能
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。

<修士プロジェクトトラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	34		
▶ 選択必修科目 └ 演習/SEMINAR A, B, C, D	4		必要単位4単位の他に, 4単位まで選択科目として修了単位数に算入可能
▶ 選択科目 └ 自専攻科目	30		
└ 委託聴講科目			10単位まで選択科目として修了要件に算入可能
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

## 【研究指導スケジュール】

各学期の履修計画については、入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

## 【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに基づき、地球環境問題や環境学の解明すべき研究課題に対して、社会科学と自然科学の知識の総合化や理論と実践の結合などによる適切な研究方法によって分析し、その結果を論理的に記述、口頭で伝達することにより社会に情報を発信する力を修得したかを判断するため、提出された論文を次の水準及び項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績、学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること、あるいは、独創的な、新しい、ユニークな着想や発想をすることができる。
4. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として、社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5. 論文構成：論文の構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成され整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することができる。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに、各種学会、大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7. 形式面：関連する多くの資料を網羅し、出展を明示し、正確な引用ができる。また、優れた文章表現ができ、指定するフォーマットの成果物を得る。
8. 語学力：必要な外国語の知識が身についている。

## 【リサーチ・ペーパー審査基準】

ディプロマ・ポリシーに基づき、地球環境問題や環境学の解明すべき研究課題に対して、社会科学と自然科学の知識を総合化した視点で論考し、その結果を論理的に記述、口頭で伝達することにより社会に情報を発信する力を修得したかを判断するために、提出されたリサーチ・ペーパーを次の水準及び項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績、学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として、社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
4. リサーチペーパー構成：リサーチペーパーの構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成され整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することに成功する。
5. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに、各種学会、大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
6. 形式面：関連する多くの資料を網羅し、出展を明示し、正確な引用ができる。また、優れた文章表現ができ、指定するフォーマットの成果物を得る。
7. 語学力：必要な外国語の知識が身についている。

## 2. 授業科目の編成・単位 【各入学年次共通】

科目名	単位数	
	選 必	選 択
演習／SEMINAR A	2	
演習／SEMINAR B	2	
演習／SEMINAR C	2	
演習／SEMINAR D	2	
日本の環境法		2
環境リスクマネジメント		2
環境経済学		2
自然環境の経済評価		2
地球環境政策・国際環境条約入門		2
環境汚染の生態リスク		2
環境生態学		2
国際環境法		2
環境経営学		2
地球環境システム学		2
環境研究のための統計学		2
ジェンダーと環境		2
環境社会学		2
途上国の環境と開発		2
エネルギーと環境		2

科目名	単位数	
	選 必	選 択
持続可能な消費とライフスタイル		2
環境倫理		2
環境教育		2
環境史		2
環境研究のフロンティア		2
環境計画・リスクマネジメント論		2
人健康の環境科学		2
公衆衛生と環境		2
産業エコロジー		2
都市サステイナビリティ		2
森林生態学		2
環境リモートセンシング		2
気候変動と現代社会		2
インターンシップ I		2
インターンシップ II		2
(他) 環境法政策 ※注1		2
(他) 比較環境法 ※注1		2
(他) 分野横断研究法：原理と技法 ※注2		2

注1：法科大学院開講科目

注2：総合人間科学研究科心理学専攻開講科目

### 英語で実施されている科目

科目名	単位数	
	選 必	選 択
ENVIRONMENTAL ECONOMICS		2
ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT		2
STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT		2
ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES		2
ENVIRONMENTAL POLICY: ANALYSIS AND PRACTICE		2
FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES		2
ENVIRONMENTAL HISTORY		2
JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW		2
BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE		2
ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES		2
ENVIRONMENTAL ECOLOGY		2
ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS		2
ENVIRONMENTAL ASSESSMENT		2
ENVIRONMENTAL PLANNING		2
GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK		2

科目名	単位数	
	選 必	選 択
JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT		2
MARINE ENVIRONMENTAL POLICY		2
ASIAN ENVIRONMENTAL STUDIES		4
BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY		2
ENVIRONMENT MANAGEMENT & CONSERVATION POLICY		2
INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING		2
WASTE MANAGEMENT IN ASIA		2
ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY		2
URBAN SYSTEMS DESIGN OF SMART CITIES FOR ACHIEVING SDGS		2
ENVIRONMENTAL SCIENCE OF HUMAN HEALTH		2
PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT		2
ENGINEERING OF RECYCLING		2
DIVERSITY AND DISASTER RISK GOVERNANCE		2

科目名	単位数	
	選 必	選 択
INDUSTRIAL ECOLOGY		2
URBAN SUSTAINABILITY		2
FOREST AND HUMAN INTERACTIONS		2
ENVIRONMENTAL REMOTE SENSING		2
CORPORATE FINANCE *1		4
ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING A*2		2
ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING B*2		2

\*1：経済学専攻開講科目

\*2：理工学専攻開講科目

科目名	単位数	
	選 必	選 択
ENVIRONMENTAL CHEMISTRY *2		2
ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE *2		2
ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY *2		2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1 *2		2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2 *2		2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3 *2		2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4 *2		2

### 3. 履修上の注意

各学期の履修計画については、入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

#### 1) 修了要件

入学当初に修士論文トラックまたは修士プロジェクトトラックを選択する。

##### A. 修士論文トラック

- ① 「演習／SEMINAR」を計 8 単位修得すること（選択必修）。履修の順番は問わないが、最低 4 単位は指導教員の「演習／SEMINAR」を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入不可とする。
- ② 選択科目 22 単位を修得すること。
- ③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および試験に合格すること。

##### B. 修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習／SEMINAR」を計 4 単位履修すること（選択必修）。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入を不可とする。
- ② 選択科目 30 単位を修得すること。
- ③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し、リサーチペーパーを提出すること。

#### 2) 履修にあたっての注意

- ① 「演習／SEMINAR」を除き、同じ名称の科目は担当者が異なる場合でも、再度履修することはできない。
- ② 「インターンシップ I」及び「同 II」を履修する場合、必ず履修登録期間中に登録を行う。希望者は、まず担当教員に事前に相談すること。また、専攻が別途指定する期日までに実習を修了し、報告書を提出すること。それができないことが明らかになった場合、速やかに学事センターにて登録削除の手続きを行うこと。尚、評価は P 又は X とする。
- ③ 「(他)分野横断研究法:原理と技法」(総合人間科学研究科心理学専攻開講 2022 年度秋学期 金曜日 5 時限 2 単位科目)について  
分野横断型の科目として、2022 年度から新たに開設される。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。  
定員 30 名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2022 年度履修要覧[ガイド・資料編]p.35を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。

#### 4. 開講科目一覧表 【各入学年次共通】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MGGE8011	春	演習/ SEMINAR A	ENV501-94e00	2	PUTHENKALAM John,Joseph	○	
MGGE8012	休講	演習/ SEMINAR B	ENV502-94j00	2	ブテンカラム ジョンジョセフ		
MGGE8021	春	演習/ SEMINAR A	ENV505-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE8022	春	演習/ SEMINAR B	ENV506-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE8031	春	演習/ SEMINAR A	ENV509-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE8032	春	演習/ SEMINAR B	ENV510-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE8141	春	演習/ SEMINAR A	ENV553-94e00	2	PARK Haemi	○	
MGGE8142	春	演習/ SEMINAR B	ENV554-94j00	2	朴 慧美		
MGGE8061	休講	演習/ SEMINAR A	ENV517-94j00	2	織 朱實		
MGGE8062	休講	演習/ SEMINAR B	ENV518-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE8071	春	演習/ SEMINAR A	ENV521-94j00	2	田中 嘉成		
MGGE8072	春	演習/ SEMINAR B	ENV522-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE8081	春	演習/ SEMINAR A	ENV525-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE8082	春	演習/ SEMINAR B	ENV526-94j00	2	平尾 桂子		
MGGE8091	春	演習/ SEMINAR A	ENV529-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE8092	春	演習/ SEMINAR B	ENV530-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE8111	春	演習/ SEMINAR A	ENV541-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE8112	春	演習/ SEMINAR B	ENV542-94j00	2	安納 住子		
MGGE8121	春	演習/ SEMINAR A	ENV545-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE8122	春	演習/ SEMINAR B	ENV546-94j00	2	柘植 隆宏		
MGGE8131	春	演習/ SEMINAR A	ENV549-94e00	2	QIAN Xuepeng	○	
MGGE8132	春	演習/ SEMINAR B	ENV550-94j00	2	銭 学鵬		
MGGE6000	休講	日本の環境法	ENV623-94j00	2	織 朱實		隔週開講
MGGE6170	春	森林生態学	ENV686-94j00	2	朴 慧美		
MGGE6080	春	環境経営学	ENV622-94j00	2	鈴木 政史		
MGGE7110	春	産業エコロジー	ENV682-94j00	2	銭 学鵬		
MGGE7180	春	環境社会学	ENV606-94j00	2	平尾 桂子		
MGGE7270	春	環境倫理	ENV605-94j00	2	* 福永 真弓		
MGGE7290	春	環境教育	ENV611-94j00	2	(他)吉川 まみ		
MGGE7390	春	環境研究のための統計学	ENV613-94j00	2	平尾 桂子		
MGGE7570	春	環境生態学	ENV629-94j00	2	田中 嘉成		
MGGE7590	春	環境経済学	ENV669-94j00	2	柘植 隆宏		
MGGE7610	春	インターンシップ I	ENV619-94j00	2	専攻主任		春学期集中 ※
MGGE7630	春	環境計画・リスクマネジメント論	ENV616-94j00	2	黄 光偉		
MGGE7640	春	地球環境システム学	ENV676-94j00	2	* 一ノ瀬 俊明		
MGGE7700	春	人健康の環境科学	ENV630-94j00	2	安納 住子		
MGGE9010	春	修士論文	ENV668-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
MGGE9550	春	修士プロジェクト	ENV665-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
LWS54100	春	環境法政策	ENL702-10j00	2	(他)北村 喜宣		(他)法科大学院
MGGE801A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV503-94e00	2	PUTHENKALAM John,Joseph	○	
MGGE801B	休講	演習/ SEMINAR D	ENV504-94j00	2	ブテンカラム ジョンジョセフ		
MGGE802A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV507-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE802B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV508-94e00	2	McDONALD Anne	○	



登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MGGE803A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV511-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE803B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV512-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE814A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV555-94e00	2	PARK Haemi	○	
MGGE814B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV556-94j00	2	朴 慧美		
MGGE806A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV519-94j00	2	織 朱實		
MGGE806B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV520-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE807A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV523-94j00	2	田中 嘉成		
MGGE807B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV524-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE808A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV527-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE808B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV528-94j00	2	平尾 桂子		
MGGE809A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV531-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE809B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV532-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE811A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV543-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE811B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV544-94j00	2	安納 住子		
MGGE812A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV547-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE812B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV548-94j00	2	柘植 隆宏		
MGGE813A	秋	演習/ SEMINAR C	ENV551-94e00	2	QIAN Xuepeng	○	
MGGE813B	秋	演習/ SEMINAR D	ENV548-94j00	2	銭 学鵬		
MGGE6025	秋	環境リスクマネジメント	ENV624-94j00	2	織 朱實		
MGGE6035	秋	国際環境法	ENV625-94j00	2	* 鈴木 詩衣菜		
MGGE6160	秋	地球環境政策・国際環境条約入門	ENV692-94j00	2	まくどなるど あん		
MGGE6190	秋	環境リモートセンシング	ENV688-94j00	2	朴 慧美		
MGGE7130	秋	都市サステナビリティ	ENV684-94j00	2	銭 学鵬		
MGGE7200	休講	途上国の環境と開発	ENV609-94j00	2	プテンカラム ジョンジョセフ		隔年開講
MGGE7210	秋	エネルギーと環境	ENV604-94j00	2	* 木村 浩		
MGGE7300	秋	環境研究のフロンティア	ENV607-94j00	2	コ)田中 嘉成		輪講, 隔年開講
MGGE7410	休講	ジェンダーと環境	ENV614-94j00	2	平尾 桂子		隔年開講
MGGE7560	秋	環境汚染の生態リスク	ENV628-94j00	2	田中 嘉成		
MGGE7600	秋	自然環境の経済評価	ENV670-94j00	2	柘植 隆宏		
MGGE7620	秋	インターンシップII	ENV620-94j00	2	専攻主任		秋学期集中 ※
MGGE7645	3Q	持続可能な消費とライフスタイル	ENV677-94j00	2	* 佐藤 真久		
MGGE7705	秋	公衆衛生と環境	ENV631-94j00	2	安納 住子		
MGGE6150	秋	気候変動と現代社会	ENV691-94j00	2	* 野尻 幸宏		
MHPS7900	秋	分野横断研究法: 原理と技法	PSY700-82j00	2	コデイカ (他)松田 修 (総合人間科学研究科)		輪講 [30名] 博士前期課程または修士課程1年次生対象 (他) 総合人間科学研究科心理学専攻開講
MGGE9020	秋	修士論文	ENV668-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
MGGE9560	秋	修士プロジェクト	ENV665-94j00	0	地球環境学専攻 各指導教員		
LWS54600	休講	比較環境法	ENL707-10j00	2	(他)及川 敬貴		(他) 法科大学院 隔年開講

※集中講義については、別途掲示で日時・教室を必ず確認すること。

英語で実施されている科目一覧

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MGGE7120	SPR	INDUSTRIAL ECOLOGY	ENV683-94e00	2	QIAN Xuepeng	○	
MGGE7655	Not Offered	JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW	ENV648-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE6140	SPR	ENVIRONMENT MANAGEMENT & CONSERVATION POLICY	ENV690-94e00	2	* SHIBATA Shingo	○	
MGGE7670	SPR	ENVIRONMENTAL SCIENCE OF HUMAN HEALTH	ENV662-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE7690	SPR	INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING	ENV643-94e00	2	* MURAI Hideki	○	
MGGE7770	SPR	ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	ENV641-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7795	SPR	MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	ENV646-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7810	SPR	ENVIRONMENTAL HISTORY	ENV633-94e00	2	McDONALD Anne	○	
MGGE7820	SPR	ENVIRONMENTAL ECOLOGY	ENV651-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE7840	SPR	ENVIRONMENTAL ECONOMICS	ENV674-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE7980	SPR	BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	ENV645-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE6180	SPR	FOREST AND HUMAN INTERACTIONS	ENV687-94e00	2	PARK Haemi	○	
MSCT7025	SPR	ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING A	SCT513-75e00	2	DZIEMINSKA Edyta	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7170	SPR	ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY	BI0503-75e00	2	YAMADA Yoko	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7180	Not Offered	ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE	BI0504-75e00	2	YAMADA Yoko	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7020	SPR	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2	GSE504-75e00	2	KUZE Nobuhiko / Others	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7040	Not Offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4	GSE506-75e00	2	TSUZUKI Masao / LI Ning	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MGGE7140	AUT	URBAN SUSTAINABILITY	ENV685-94e00	2	QIAN Xuepeng	○	
MGGE7650	AUT	GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	ENV634-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7680	AUT	ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES	ENV635-94e00	2	HIRAO Keiko	○	
MGGE7685	AUT	ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	ENV647-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MGGE7695	AUT	ASIAN ENVIRONMENTAL STUDIES * 1	ENV661-94e00	4	HUANG Guangwei	○	Intensive course * 2
MGGE7710	AUT	JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV637-94e00	2	* ASAEDA Takashi	○	
MGGE7730	AUT	ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	ENV639-94e00	2	PUTHENKALAM John Joseph	○	
MGGE7740	AUT	PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT	ENV663-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
MGGE7750	AUT	ENVIRONMENTAL PLANNING	ENV640-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
MGGE7760	AUT	URBAN SYSTEMS DESIGN OF SMART CITIES FOR ACHIEVING SDGS	ENV671-94e00	2	* YAMAGATA Yoshiki	○	Intensive course * 2
MGGE7780	AUT	ENGINEERING OF RECYCLING	ENV672-94e00	2	Co) ORI Akemi	○	Team-taught course
MGGE7790	AUT	DIVERSITY AND DISASTER RISK GOVERNANCE	ENV673-94e00	2	* KAWAHARA Yoshihisa	○	
MGGE6200	AUT	ENVIRONMENTAL REMOTE SENSING	ENV689-94e00	2	PARK Haemi	○	
MGGE7830	AUT	ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	ENV652-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
MGGE7835	AUT	ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICE	ENV653-94e00	2	McDONALD Anne	○	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MGGE7850	AUT	ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT	ENV675-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
MGGE7855	AUT	WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ENV657-94e00	2	ORI Akemi	○	
MGGE7865	AUT	BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE	ENV654-94e00	2	Co) McDONALD Anne	○	Team-taught course
MGGE7875	Not Offered	FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES	ENV655-94e00	2	Co) TANAKA Yoshinari	○	Every other year, Team-taught course
MGGE7960	AUT	STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV642-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
MEEC7190	AUT	CORPORATE FINANCE	ECN537-55e00	4	KAWANISHI Satoshi	○	(other) Grad. Program in Economics
MSCT7045	AUT	ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING B	SCT514-75e00	2	TRIHAN Fabien	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7090	Not Offered	ENVIRONMENTAL CHEMISTRY	ACH503-75e00	2	HORIKOSHI Satoshi	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7010	Not Offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1	GSE503-75e00	2	SUZUKI Takashi / Others	○	(other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7030	AUT	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3	GSE505-75e00	2	GONSALVES Tad / Others	○	(other) Grad. Program in Science and Technology

\* 1: Course registration for "Asian Environmental Studies" is accepted during the course registration period. However, if the numbers of students who register for the course exceed the course capacity, the instructor will select the students who can take the course.

Students who were not selected must withdraw from the course during the withdrawal period. This course is graded either P or X.

\* 2: For Intensive Courses, you must check the schedule and classroom on Loyola Bulletin Board (Academic Service).

## 5. 研究指導一覧表【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
ENV664-94j00	織 朱實	
	田中 嘉成	
	平尾 桂子	
	まくどなるど あん	
	黄 光偉	
	プテンカラム ジョンジョセフ	
	鈴木 政史	
	安納 住子	
	柘植 隆宏	
	銭 学鵬	

## 6. 早期修了制度

- ① 早期修了制度は修士論文トラック、修士プロジェクトトラックともに適用される。
- ② 早期修了希望者は修了を希望する最終学期（2学期もしくは3学期目）の履修登録期間中に、「早期修了希望届」を地球環境学研究科事務室に提出し、早期修了希望者として登録すること。
- ③ 修了に必要な単位をすべて修得することとし、かつGPAが3.8以上あること。
- ④ 修士論文もしくはリサーチペーパーの評価がAであること。

## 地球環境学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。
博士論文			博士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「博士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。
博士論文			博士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「博士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			博士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「博士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【研究指導スケジュール】

各学期の履修計画については, 入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

#### 【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに基づき, 自立した研究者として研究を継続し, 当該分野・領域の研究において, 将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有し, 以下の基準を高い水準で満たしていること。なお, 地球環境学に関する国際レベルの研究能力を有していると認められ, 持続可能な社会の実現に貢献する専門的人材となりうるかを判断するために, 提出された論文を次の水準及び項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で, 今日の問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績, 学術研究の到達点を適切に把握している。

3. 独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること、あるいは、独創的な、新しい、ユニークな着想や発想をすることができる。
4. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として、社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5. 論文構成：論文の構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成され整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することに成功する。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに、各種学会、大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7. 形式面：関連する多くの資料を網羅し、出展を明示し、正確な引用ができる。また、優れた文章表現ができ、指定するフォーマットの成果物を得る。
8. 語学力：必要な外国語の知識が身につけている。

## 2. 授業科目の編成・単位

科 目 名	単 位 数		
	必修	選必	選択
研究指導 ※	0		
環境生態学特論			2
日本の環境法特論			2
環境社会学特論			2
人健康の環境科学特論			2
自然環境の経済評価特論			2
産業エコロジー特論			2
ADVANCED BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL POLICY: ANALYSIS AND PRACTICE			2
ADVANCED GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL PLANNING			2
ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES			2
ADVANCED ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS			2
ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA			2
ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT			2
ADVANCED MARINE ENVIRONMENTAL POLICY			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL ASSESSMENT			2
ADVANCED PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT			2
ADVANCED ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT			2
ADVANCED INDUSTRIAL ECOLOGY			2
ADVANCED FOREST AND HUMAN INTERACTIONS			2
ADVANCED ENVIRONMENTAL REMOTE SENSING			2

## 3. 履修上の注意

各学期の研究計画及び論文要件については、入学時のガイダンスで配布される「地球環境学研究科ハンドブック」を参照すること。

- ① 学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」を毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- ② 博士論文提出資格論文の審査に合格した上で、定められた手続きにより博士論文を提出し、審査および試験に合格しなければならない。

【18 年次生以降】

- ① 在学期間中は指導教員の科目を含め、6 単位以上取得すること。

#### 4. 開講科目一覧表【各入学年次共通】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DGGE7010	春	環境生態学特論	ENV802-94j00	2	田中 嘉成		
DGGE7030	休講	日本の環境法特論	ENV803-94j00	2	織 朱實		隔週開講
DGGE7060	春	環境社会学特論	ENV805-94j00	2	平尾 桂子		
DGGE7190	春	人健康の環境科学特論	ENV817-94j00	2	安納 住子		
DGGE7240	春	産業エコロジー特論	ENV828-94j00	2	銭 学鵬		
DGGE7070	SPR	ADVANCED BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	ENV806-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
DGGE7080	SPR	ADVANCED MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	ENV807-94e00	2	McDONALD Anne	○	
DGGE7090	SPR	ADVANCED ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	ENV808-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
DGGE7250	SPR	ADVANCED INDUSTRIAL ECOLOGY	ENV829-94e00	2	QIAN Xuepeng	○	
DGGE7260	SPR	ADVANCED FOREST AND HUMAN INTERACTIONS	ENV830-94e00	2	PARK Haemi	○	
DGGE7210	秋	自然環境の経済評価特論	ENV821-94j00	2	柘植 隆宏		
DGGE7110	AUT	ADVANCED STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	ENV809-94e00	2	SUZUKI Masachika	○	
DGGE7120	AUT	ADVANCED ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICE	ENV810-94e00	2	McDONALD Anne	○	
DGGE7270	AUT	ADVANCED ENVIRONMENTAL REMOTE SENSING	ENV831-94e00	2	PARK Haemi	○	
DGGE7140	AUT	ADVANCED GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	ENV812-94e00	2	HUANG Guangwei	○	
DGGE7160	AUT	ADVANCED WASTE MANAGEMENT IN ASIA	ENV814-94e00	2	ORI Akemi	○	
DGGE7170	AUT	ADVANCED ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	ENV815-94e00	2	PUTHENKALAM John Joseph	○	
DGGE7180	AUT	ADVANCED ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	ENV816-94e00	2	TANAKA Yoshinari	○	
DGGE7200	AUT	ADVANCED PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT	ENV818-94e00	2	ANNO Sumiko	○	
DGGE7220	AUT	ADVANCED ECONOMIC VALUATION OF THE NATURAL ENVIRONMENT	ENV822-94e00	2	TSUGE Takahiro	○	
DGGE7230	AUT	ADVANCED ENVIRONMENTAL PLANNING	ENV823-94e00	2	HUANG Guangwei	○	

#### 5. 研究指導一覧表【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
ENV819-94j00	織 朱實	
	田中 嘉成	
	平尾 桂子	
	まくどなるど あん	
	プテンカラム ジョンジョセフ	
	黄 光偉	
	鈴木 政史	
	安納 住子	
	柘植 隆宏	
	銭 学鵬	